

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市商工対策審議会
開 催 日 時	令和3年12月15日(水) 午前10時30分から 午前11時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	【商工対策審議会委員】 大泉 将平、松本 美代子、稲葉 剛治、恒川 博、牧田 昌己、 岡見 春美、米元 秋枝、鈴木 真理、山本 修史
欠席委員(者)氏名	小林 政夫
担当課職員職氏名	産業振興部 商工課 課長 染谷 憲市 商工課 消費労政係長 會田 奈穂子 商工課 商工観光係長 東原 拓哉
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	第1回吉川市商工対策審議会 1. 開会 2. あいさつ 3. 委員委嘱 4. 会長及び副会長の選出 5. 諮問 6. 議事 (1) 新型コロナウイルス感染症の対応について (2) 産業振興計画改定(原案)について 7. その他 8. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	—
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	1. 次第 2. 傍聴要領 3. 委員名簿 4. 資料 1 新型コロナウイルス感染症の対応について 5. 資料 2 吉川市産業振興計画改定方針 6. 資料 3 吉川市産業振興計画改定【原案】 7. 参考資料 吉川市産業振興計画 【現行】
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録

会議録確認指定者	鈴木 真理、山本 修史
その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
市長	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 委員をお引き受けいただき深く感謝申し上げます。農商工の様々な現場の視察を行い、平成30年に産業振興部を立ち上げ、「産業振興条例」を制定した。他の自治体でも同様の条例はあるものの、中小事業者の支援を目的とするものであり、当市では、農商工を産業として一体的に捉え、事業所のみならず、勤労者、市民、行政の協働と、単なる企業の発展ではなく、市全体の幸福実感の向上を目指していこうというものである。この条例に基づき策定された産業振興計画の改定について、皆さんのお力添えを賜りたい。</p>
会長	<p>3. 委員委嘱 委嘱書の交付及び委員の自己紹介 事務局の紹介</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 会長に大泉委員を、副会長に松本委員を選出 (両名、了承) 大泉会長より挨拶 委員より様々ご意見を伺いながら進めていきたい。実りのある会議としたいので活発な意見をお願いします。</p>
委員	<p>5. 諮問 市長より商工対策審議会会長に諮問</p> <p>6. 議事 (1) 新型コロナウイルス感染症の対応について 事務局より資料1を用いて報告 【意見・質疑等】 事業発展支援補助金について確認したい。10月から始めたとのことだがいつまでの予定か。</p>
事務局	<p>今月末までを予定している。</p>
委員	<p>来年以降は何か予定があるか。</p>
事務局	<p>現段階において予定しているものは無いが、感染状況等による経済動向を注視し、事業者支援を検討していきたい。</p>
会長	<p>市独自の様々な取組みを実施していることは大変良いことと感</p>

事務局	<p>じている。国も持続化給付金など様々な支援策を講じているが、大前提として、新型コロナウイルス感染症などを起因として業績が悪化した事業者を対象としている。業績悪化の原因がコロナ感染拡大前の事業者側の瑕疵であった場合ということも考えられるが、申請時に何かその部分はチェックされているのか確認したい。</p> <p>本補助金の活用については、新型コロナウイルス感染症などにより、売上が前年同月比で5%減少した事業者を対象とし、減少に関する書類の提出を求めている。なお、窓口での申請時には、事業概要等の聞き取りを行っているが、業績悪化の詳細な要因の傾聴までは難しい。また、本補助金については、当初100件程度を見込んでいたが予算上限に達したため、追加で予算を確保し対応している状況である。現在までに、約220件の申請について交付を決定している。</p>
委員	<p>(2) 産業振興計画改定（原案）について</p> <p>事務局より資料2、3を用いて説明</p> <p>資料を事前に送付いただき確認したところ、大変見やすく良い計画であると感じた。</p>
委員 事務局	<p>6次産業化について説明をいただきたい。</p> <p>一例として申し上げますと、農業者が米を生産し、通常であればそれを出荷するという流れになるが、そのお米を粉に加工して米粉パンまでを製造し販売するという取組みとなる。</p>
委員	<p>6次産業化とは、1次産業として農林漁業、2次産業として製造業、3次産業として小売業等を総合的に推進し、新たな付加価値を生み出す取組みのことである。この、1次と2次と3次を掛け合わせ6次産業化という意味である。</p>
事務局 委員	<p>6次産業化に注釈を加える。</p> <p>すっきりと纏まっていて良いと感じる。SDGsのマークがカラーで示されていて大変分かりやすいが、最終版についてもカラーとなるのか確認したい。また、事前に配布された資料では、SDGsの17の目標の一覧が無かったが、本日の資料には追加されていたので、分かりやすく良いと感じている。</p>
事務局	<p>最終版についてもカラーとする。また、SDGsに関しては、庁内調整の際に意見があり、17の目標の一覧を掲載した。</p>
委員 事務局 委員	<p>SDGsは、教育の現場で特に目にする機会が多いと感じている。また、人権の問題も重要であると考えており、LGBTQなどについて、もう少し掲載があるとより良いと感じる。</p> <p>掲載について検討していきたい。</p> <p>現行の計画と本日の原案を比べると、見やすくなったという印象である。市民をはじめ、事業者の方々にも伝わりやすくなった</p>

	<p>と感じている。これまで開催された産業振興会議を傍聴し、計画の進捗、成果については、産業振興会議などで報告があると伺っている。本計画の教育の部分に関連して、これから就労する世代などに、市内にどんな事業者があり、どんなことを行っているのか伝えていくことが大切である。市内の児童、生徒は職場体験等があるが、高校生や大学生にどのように伝えられるのかが重要と感じている。働くということを身近に感じることが出来る機会を創出すれば、より産業振興に繋がっていくと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>大切な部分と認識している。市内小学校のなかでは、お米、ねぎの生産風景やなまず養殖場などの写真をもとに出題したテストを行っている。市内の子どもに、市の産業を知る良い機会として、また、愛着心の醸成に繋がる有効な取組みだと感じている。一方で、高校生や大学生に対するアプローチは、難しい部分であるが、市で行っているSNSなどを活用し、引き続き発信していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>総合振興計画の策定の中で、市内の大学生等による「若者会議」というものを立ち上げていたが、何かそのような機会なども活用できないかと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>若者会議は、市の最上位計画である総合振興計画の策定に際し、大学生など若い世代が集まって、まちづくりに関する様々な意見交換が行えるよう設置した会議体である。このような若い世代に伝えていけるよう努めていきたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>地域ブランドの意見となるが、世界では、「アニマルウェルフェア」という考え方がある。この考え方は、家畜を快適な環境下で飼育することで、ストレスを減らし、結果として品質の向上や安全性に繋がるというものである。欧米では主流であり、今後、日本もおそらく同様になるのではないかと考えている。また、消費者もそのような商品を選択していくということが求められていくのではないかと考えている。市内には養鶏場があり、品質の良い卵が販売されている。ぜひ、市の方でもそういった部分をアピールしていただけたら良いのではないかと感じている。また、日本ではそのような事業者への補助金等による支援までは至っていないと思うが、今後、そのような流れが来るのではないかと考えている。吉川市は都会的な一面とのどかな風景が広がる良い場所であり、そこで育った野菜などは品質が良い。なまずのみならず、そのような卵、野菜などもぜひアピールしていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>本計画にも記載したが「大吉ブランド」として様々な市内事業者の優れた逸品を発信している。この中で、養鶏場の卵を使用したデザートなどが紹介されている。また、職員が、商業、工業や農業者など様々な事業者を訪問すると、横のつながりや、身近な</p>

委員	商品を市内事業者が製造していることを初めて知るなど、新たな発見が多々ある状況である。引き続き、訪問や傾聴を通じて、新たな発信に繋げていきたいと考えている。
事務局	埼玉県では、SDGsに関して事業者の登録制度というものを行っている。大手企業では、SDGsを踏まえて活動していかないと、株価が下落するあるいは取引が止まってしまう状況となっている。おそらく今後、中小企業などにも急速に広がっていくのではないかと感じているが、現段階では、多くの中小事業者は、取り入れることでコストが増加することを懸念していると思う。何か市の方では、県のようなSDGsの登録制度等は検討されているのか。
委員	現段階においては、そのような登録制度はない状況である。一方で、SDGsに関する認知に関しては、毎年行っている意識調査の中で、認知度が10%に満たない状況が続いている。市では、総合振興計画をはじめとする様々な計画へのSDGsに関する記載、職員研修、さらには市民向けの出前講座等を通じて、認知度の向上を目指している。まずは知ってもらい、そこからの行動変容を促すという段階である。
事務局	本計画のように記載していくことで、行政が旗振り役としてきっかけづくりを行い、周知していくという役割について理解した。3年ほど前になるが、SDGsの先進自治体を視察したことがあり、その自治体では、大学生や企業と連携して、SDGsを理解するためのカードゲームを開発したということであった。他の委員からもご意見を頂いたように、若い世代との連携により、新たな発想が生まれてくるという考えが重要であり、市の様々な計画へ記載することで、意識できるようにしていくことが大切と考えている。
委員	埼玉県も、登録制度後の次の一手を模索しているようにも感じる。SDGsに関しては、市の方でも引き続きよろしく願います。
副会長	ワークライフバランスに関連して伺うが、市の待機児童数はどうなっているのか確認したい。
事務局	一時、子育て世帯の転入が増加し、待機児童数が高まったが、現在は、ほぼ待機児童が無い状況となっている。
副会長	流山市では、駅を拠点として送迎保育を行い、勤労者側の負担を減らす取組みを行っているが、吉川市ではそのような取組みがあるのか確認したい。
事務局	当市も吉川駅周辺に送迎保育が設置されている。
会長	7. その他 様々な資料を頂き、大変見やすい計画となったと感じている。文言の中で、「障がい者」という言葉が使われているが、何か使い分けがあるのか確認したい。

事務局	<p>法律などでは漢字が使用されているが、本計画のように市が出す文章では、ひらがなを使用している。法律を引用する場合などを除き、各部署で、このように使い分けを行っている。</p>
事務局	<p>本日、限られた時間の中で様々なご意見を頂き、今後パブリックコメントの実施となるが、お気づきの点などがあれば、事務局までご連絡をいただきたい。計画の修正などに関しては会長と十分に調整させていただければと考えている。</p>
副会長	<p>8. 閉会 現行計画と比較し大変見やすい良い計画になったと感じている。事務局、委員の皆様お疲れ様でした。これをもって本会議を閉会とする。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年12月24日</p> <p>署名委員 鈴木 真理（自署） 署名委員 山本 修史（自署）</p>	